

【第15回目なかの保育園三者懇談会】

日時 平成21年6月25日(木) 10時～

場所 なかの保育園

出席者 なかの保育園保護者21人

内容

保 保護者

市 市役所

な なかの保育園

市 平成19年の9月になかの保育園の移管先法人が本宮福社会に決まり、第1回目は平成19年の9月だったと思うが、法人さんと保護者さんと市で、民営化にあたっての引継ぎ等について、みなさんで意見を懇談しようということで三者懇談会というような名前をつけて進めさせていただいた。今回は15回目の懇談ということになる。早速懇談会をはじめさせていただく。

* * * 課長あいさつ，市役所出席職員紹介 * * *

市 では早速なかの保育園移管計画について説明をお願いします。

市 昨年度は民営化の担当ということで1年間旧なかの保育園に毎週1回、相談員と一緒に訪問して1年間お付き合いさせていただいた。今年は係長という立場からこちらの保育園と保護者のみなさんとお付き合いさせていただきたいと思う。よろしくお願ひしたい。本日お配りした資料の中で、盛岡市立なかの保育園移管計画というのをお渡している。こちらを御覧いただきながら進めていきたいと思ひのでよろしくお願ひしたい。まず1ページのほうを御覧いただきたい。2番の計画の期間。なかの保育園の民営化にあたっては第1期から第4期ということで今まで位置付けて進めてきた。第1期については、移管先法人決定から引継保育開始までということで、平成19年8月2日、これは盛岡市民営化計画が決定した日だが、この日から平成20年3月31日までを第1期と位置付けた。次に第2期ということで引継保育開始から移管まで、平成20年4月1日から平成21年3月31日まで行った。今現在第3期移管後の1年間というところだ。平成21年4月1日から平成22年3月31日までということだ。来年の4月以降が第4期ということだ。1番目の第1期。移管先法人決定から引継保育開始までということについて、(2)の三者懇談会の設置ということで、この三者懇談会の意義については、先ほど女鹿補佐から話したとおり保護者のみなさん、移管先法人本宮福社会、市の三者が一体となって円滑な引継保育や保育体制保育内容などについて、保護

者，移管先法人及び市の第三者による懇談会を設置するということである。

2 ページ目の 5 番目の職員の人事異動に伴う引継ぎで，公立保育所は毎年人事異動があるが，この人事異動に伴う円滑な引継ぎを行うために，異動先とまた移管先法人から，去年の 4 月に 3 名来て，さらにその後 3 名来たということだ。また，この時期に，この新しい園舎の施設設計等も行った。次に第 2 期を御覧いただきたい。平成 20 年 4 月 1 日から今年の 3 月 31 日まで，(1) の引継保育ということである。盛岡の場合は民営化にあたり，1 年間引継ぎを実施している。昨年 4 月から 3 名の保育士さん，主任保育士さん，プラス 2 名ということで来ていただいて，公立の保育士とともに，保育を進めてきた。また，10 月から，さらに 3 名が，計 6 名の保育士が本宮福祉会さんの方が派遣されて市の職員として 1 年間働いたということである。

次に 3 ページを御覧ください。この間の三者懇談会を昨年は 6 回開いた。これは定例的ということだが，この懇談会の中において行事等についてとか，そういうものについて話し合いを行った。(5) 保護者アンケートの実施である。平成 20 年 8 月にアンケートを実施した。いろんな御意見をいただき，一番不安だという点についても御意見をいただいた。この内容については盛岡市のホームページにも掲載してるので，昨年からいらっしゃた方には紙ベースでお渡しもしているが，この 4 月から入られた方はホームページのほうからは是非御覧いただきたい。次に (9) 施設整備である。盛岡市内でも一番の規模，大きさも新しさも一番のこの園舎が完成してるわけだが，この園舎は昨年 9 月に着工し 2 月末で竣工した。3 月からは開園のための準備を行ってきた。

次に 4 ページを御覧いただきたい。3 番の第 3 期である。今現在ここまで進んでおり平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日までの 1 年間ということである。この 4 月から民営化になり 2 時間延長保育，一時保育をすでに開始している。7 月から在宅のお子様を中心とした子育て支援センター事業開設する予定である。(1) である。移管後の訪問指導については，昨年までと同様毎週 1 回こちらに市の職員が来て，保育状況，また職員会議の内容をみているところである。次に特別保育の実施ということ，2 時間延長保育，一時保育については実施済みである。の地域子育て支援センターは 7 月から実施になる。(4) 三者懇談会については，本日も含めて今までで通算で 15 回開催している。次に (5) の保育内容の評価と結果の公表について，市は今年度中，秋ごろになると思うが，この保育園を利用しているみなさま保護者の方にアンケートをお願いしたいと思っている。第 1 号だった津志田保育園さんにも昨年お願いし，その結果もホームページに出しているが，みなさんの民営化後の保育についての御感想をお尋ねしたいと思っているので，その際には御協力をお願いしたい。最後に第 4 期であるが，来年 4 月 1 日以降ということなので，訪問指導については適宜状況をみながら進めていきたいと考えている。(2) の保育内容の確認，(3) 三者懇談会の継続とい

うことも、状況に合わせて保護者のみなさんといろいろ話し合いをしながら時期をみはからって開催していきたいと考えているところである。

市 ただいまの説明内容、また、それにこだわらずに普段お感じになっていること、何でもかまわないので、ここから意見交換という形でよろしくお願ひしたい。

保 3点ほど確認させていただきたい。まず1点目。4ページの引継保育開始から移管までの項目の中の10項目、新園舎に対するならし保育という点だが、建築するという計画を見せていただいた段階でこの期間でならし保育ができるのかと聞いたら、大丈夫であるという返答だったと思うが、記憶にある限りでは確か子どもたちは1回しかこちらの園舎に来ていないはずだと思う。それで建物に対するならし保育が完全にできたかということに疑問に思う。実際4月に入って2週間ぐらいすごくいい天気が続いたが1回も外に出してもらえなかった。それでいつになったら出してもらえるのかということを知ったら、先生によっても返答が違ったが、園庭が固まっていないから外にはまだ出せないとか、園舎にまだ慣れていないから、先生も子どもたちも慣れていないから、園舎に慣れてからお外に出たいという回答をされた。そういう形での引継ぎを次々とほかの園でやられたのでは、子どもたちがちょっとかわいそうなんじゃないかと思う。

それから2点目は移管後の訪問指導ということについて、スパーンが長すぎるような気がした。今まで2か月何もなかった。園舎に来て先生方に対しての訪問指導というのはあったのかもしれないが、こうやって保護者からの声を吸い上げるという場というのが2か月あけられると子どもたちは2か月黙って我慢しなければいけない部分もあったと思う。まず親のほうからしてみれば、正直先生に言いたいことの半分も言っていないかなという部分もあるので、控えめなお母さん方は言う場所がないし、正直こうやって懇談会に出席する方も少ないので、何回か開いてということもあるかもしれないが、移管してから丸2か月何もないこと。せめてアンケートをとって今の状況がどういうことなのかというくらいの把握をするべきだったと思う。

それから3点目は、前のなかの保育園に入れていたときも知らなかったが、登園降園時間の確認である。これは先日2回目の保護者会で確認をして下さいということを知り、また、鍵を渡すときに、みなさんに周知をして下さいと保育園に頼んだのだが、ちゃんと確認ができていなかったようなので、それは市の方からも周知してもらいたい。つまり、今度は時間が残るわけである。登園時間、降園時間というのが今まではあやふやだった。今度はタイムカード式で時間がきっちりと残るわけなので、6時までで、延長保育を申し込んでない人に対して、5時55分には迎えに入ったが、出るとき6時を過ぎると、時間として残るのが6時1分だったとすると、それが延長保育に入ると

いうことを知らない方が大勢いると思う。その周知の徹底をお願いするということをお願いしたが、鍵を渡すときにみなさんにそういうお話がなかったので、登園降園の確認の意味を、それは移管されたから民間の保育園になったからということではなく、降園時間は、ほかの保育園で言うと門を出る時間が帰った時間ということになる。そういう周知の徹底をしていただかないとトラブルになる。ほかの園では時間がきっちり残らない。ここの園は帰った時間がしっかり残ってしまうので5時何分に迎えに行ったのに、出てみたら6時過ぎだった。気が付かないでいたら後になって延長料金代をお願いすると言われても、ちょっと納得できないと思う。そういうことの周知の徹底をお願いしたい。

市 それでは市のほうからお答えできる部分と、あとは園のほうから園長先生にお答えしていただく部分とあると思うので、分けながらお答えしていきたいと思う。

まず1点目だが、園舎についての引継ぎで十分だったのかというお話について、確かにこちらの園舎に1回しか来られなかったということで大変申し訳なかったと思っている。当初の保育園、保育所を建設するにあたって、最初入札というのが行われるが、この間でうまく1回目がいかに契約が全部遅れたということがあり、実際着工したのが9月になってしまったということがある。それで引渡しは2月末ということで、その後に園庭の整備とか物の搬入とか、まったく新しいところからスタートだったので、ひとつひとつ細かい物を入れることに2週間ほどかかり、実際にこちらの園に来ていただくことが1回になってしまった。そこは本当に申し訳ないと思っている。本当は回数を多く遊びがてら来てもらってということも考えていたが、うまく日数的にいけなかったという部分がある。

次に訪問活動ということについて、保育園に対する訪問活動というのは昨年もだが、今年度も毎週1回以上こちらのほうに入って、先ほどもお話したとおり職員会議、職員等の状況また子どもたちがどういった形で保育されているか、子どもたちがどのような形で遊んでいるかということを見に来ている。今回この三者懇談会がこの時期になったということだが、市でも開催時期というのを検討している中で、4月に入って会議をするためには1週間2週間前に御連絡をするわけだが、その段階で早過ぎてもなかなか集まっていただけないかなということも考え、去年の津志田保育園の例もあり、6月ぐらいという形で設定をした。保護者の方から長いのではという意見、これは昨年にはなかった御意見だったので、今回この御意見をいただいて次回以降に検討させて、という形にさせていただきたいと思う。

3点目の登園カードについて、退園時間、帰った時間ということについて、全市内を見ても、ここくらいきっちり時間を記録にとるところはないと思うが、それについて延長料金が発生するかどうかということについては、園長先生のほうからお答えい

ただいたほうがいいと思うのでお願いしたい。

な　まずは、今日は参観日に参加していただきましてありがとうございます。そして忙しいにも関わらず三者懇談として残っていただきましてありがとうございます。

延長保育のことについては、説明会のときに3回にわたって説明した。そのときは基本的には6時過ぎが延長になる、7時過ぎると延長になる、これは市内全部公私立みんな同じだというお話をした。その中で、6時前に来て帰るときには、ちょっと1分2分とか遅くなっても延長になるのかという質問があった。1分2分ならいいよと言うと、どうしようもなくなるので、基本を言わせていただくということでお話をした。3回目の説明会のとき、異動になった係長さんも出席していたので、役所の方に説明をしてくださいとお願いすると、基本はそうだとしたことだったので、まず基本をお話した。

実際に園の都合、園で何か事故があったりとか、園の都合でちょっとお話するようなときは、担当からこういうわけでお話したと言うと、事務のほうで記録し、1分2分そして1回でも利用したならば該当になるということのお話はしていたが、たった1回のところ、2、3分のところでは実際に「これはどうしましょうか」というふうなことは必ず園長に聞くので、「何回なのか」と言う「1回である」と、「それぐらいいいんじゃないか」と、そういうことを実際やっている。それがずっと続くようならば、「この状態だと1分2分でも該当になるから気を付けてください。」、あるいは「6時過ぎたら割り切って、その月はおおいに利用していただく」とかっていうお話ししており、極端に本当に1分2分のところで、すぐぴちぴちと延長扱いになるっていうような処理の仕方をしていない。

初めて該当になった場合は、延長について一言言って伝えて、お渡しするという方法をとっており、間違った方法ではやってないかと思うが、延長になったということで、「延長になったのはいつなのか」ということを言われたりするが、そうすると記録がちゃんと残ってるので「いついつの分である」と言っている。逆に本当に申し訳ないことで、使ってもいないのに該当したということもあった。「うちでは使っていない」と言われて、6時はとくに過ぎているのに使っていないということだったので、調べるといふことになり、「どうやって調べるのか」と言われたが、それはきちっと記録していて、一行ずれるというところで間違っていたということを確認し、一斉に迎えに来たときに、もしかして別なほうにチェックしたのかもしれない。何月何日の何時ぐらいは確か何人だった。そうすると該当しないというようなことがはっきりして、本当すみませんでしたということで、お詫びしたときもある。6時過ぎ数分ぐらいのところでは、話し合いをして処理している。

市 補足だが、2番目のこの三者懇談会まで長かったんじゃないかというお話をいただいて、普段から毎週職員が来ている。お帰りになる際にお顔を合わせる機会があるということも聞いており、また、園のほうにも投書箱も置いているので、御意見を是非いただいて、市のほうでも意見をいただきながら進めていきたいと思っている。また延長保育の関係だが、市内全域の保育園で何分過ぎたから延長になる、ならないとか、結構問題になっているところが多いのが事実ある。こちらの園のように時間が残ってそれについてどのように進めていくか、園と保護者のみなさまの信頼関係の中で話し合って進めていっていただければ。ほかのところは最初5分までいいよということが、いつのまにか5分、10分になった。月1回ならいいよが、3回4回になった。「駄目だよそんなことじゃ」と言っても「今までやってきたじゃないか」というような話になって、結構こじれてきているケースというのが多くなってきている。ここの園は時間がはっきり残るので、これぐらいならどうなのか、また、それがあまり続くようなら園のほうから言うのも必要になるので、保護者の方々と園のほうで話し合いをしながら今後確立していただければいいことかなというふうに思う。

保 延長について、保護者のモラルの問題というところが大きいと思うので、園長先生の話では、1回2回は大目に見ていただけるとのことなので、私が言いたいところはそれではなく、結局4回鍵をセンサーにかざしシステムに入力させる。朝来て入るとき、また朝園舎を出るとき。登園が一番最初が登園時間になる。それでいいか。確認である。降園は園舎に入るときではなくて、一番最後の出るときが降園時間ということでもいいか。その周知の徹底をするべきだったと思う。ここの保育園だけじゃなくて、ほかの私立の保育園でも降園時間はこういうものが降園時間だという周知の徹底を図るのが必要だと私は思う。今までは6時前に迎えに行けばいいものだと思ってたので、いつもぎりぎりに行っていた。ほかの保育園でこれからこのように移管されたときにこういう問題が出ると思うので、きっちり周知の徹底を図るべきではないかと思う。

市 公立の場合はタイムカード制のところは一切ないので、6時までみなさんに迎えに来ていただいて、その後連れてお帰りいただくという流れになり、その中で保育士さんとお話する時間とかというのもとっていると思うので、その辺についても園長先生と検討していただいて、みなさんのほうにお知らせするというご願ひしたいと思う。

な ここではっきりさせていただきたいが、旧なかの保育園の場合は登録していない子で6時過ぎてお遊びしていた子がいて、その子どもたちはおやつを食べないで別の部

屋で保育をしていた。延長申請していた子どもさんはおやつを食べて別なところで保育していた。食べないから6時を過ぎてても対象にならないというような方法でやっていたようだが、それは基本ではないなということをはっきりさせていただきたいと思う。先ほど言ったように6時を過ぎると、公立でも私立でも民間でもみんな帰った時間がカウントされるんだということは、私たちのほうからも市役所のほうにお願いしたいと思う。旧なかの保育園は帰った時間で、延長申請をしないで6時を過ぎて保育をした子や、おやつを食べないで保育した子は該当にならないといったことがあったようで、それで混乱したと思う。保護者からは、知らなかったと、おやつを食べなければ該当にならないと思ってたという御父兄さんもあり、そうではないよという話し合いもしたので、よろしくお願ひしたい。

保 今のお話について、保育園側に確認だが、私も6時前にはほとんど迎えに来るが、たまに道路事情とかによって5分10分過ぎたことがあった。そのときに園に連絡した。そして分かったということで延長していただいた。そのときの保育士さんの言葉が、お母さんから連絡いただいても延長には変わらないからというお話をいただいた。遅れるということに対しての報告というのは必要がなかったのか。

な そういう保育士がいたとすれば本当に申し訳ない。これからもちょっと気分悪いなということがあったら、なんでも言っていただきたいと思う。そうすると早めに、今日の夜も職員会議があるが、懇談会でこういうふうな話が出たよということで、周知徹底できるので、どういうふうなことでもいいので言っていただきたいと思う。

保 私だけではなかったので、同じことを話されて気分を害してた父兄がほかにも何人かいた。私ひとりであれば問題ないと思うが、そういうことが多発するようでは今後連絡は必要か。

な 一応連絡していただければ。

保 親からしてみればいつも過ぎないのに、過ぎることに対しての配慮、と言うと大げさだが、ちょっと遅れるという連絡はしたほうがいいと思う。

な とても大事なことである。

保 別に延長しないで欲しいという連絡ではない。

な 分かった。大変申し訳なかった。

保 今日も見えて感じたが、ごはんの食べ初めが、準備できた子からだったので、そろってからいただきますをして欲しい。うちの子は結構食べるのが早いので、さっと食べ始めて食べ終わるのも早くて、食べ始めてない子もいるなかに、ひとりで着替え終わって、寝る準備ばたんなのだが、なんかそのぐらいの差が付くほどしてていいのかと思う。食べ始めくらいは一緒に、同じクラスの子と一緒に座って準備ができたか先生が確認した上でいただきますを始めて、というのがいいと思う。自分で、次食べ終わったら次着替え、こうしたらいいんだとか、食べ始めもタオルを濡らして準備して自分でやっているの、すごくいいことなのだが、そういうことも自分で分かって行動できるということはすごくいいと思うが、集団でいるので、食べ始めは一緒にとか、終わりはもちろん差があると思うので、食べ終わった子は少し待ってたとしても、時間がかかる子は残ったとしても、もう少し足並みをそろえてもいいかなと思う。おやつも早く起きた子から準備できた子から食べ始めて、その子の部屋のほうを見たら着替えていない子もいたり、あまりにも差があり過ぎてるなということを感じた。遅くまで、まだ寝てる子がいたら起こしてあげて一緒におやつ食べ始めてというふうにしたらいいなと感じた。

な 基本的には保育者と一緒にももちろんいただきますということなのだが、あまりにも差があり過ぎる場合は、1グループ2グループというふうに分かれて、そのグループでみんなそろったらごあいさつして食べましようとか、グループごとの把握をして保育をしている。そして目覚めのときも、早い子と遅い子がいるので、早い子はグループで先に食べると、遅い子は遅い子グループで次にというようなときもある。そういうことが当たり前だということではなく、子どもさんの状態に合わせて、そういう方法で行っている。指導計画にも同じ年齢であるけれども、3歳になったばかり、4歳そしてもうすでに上の子の年齢になって誕生日が来て、というひらきがすごくあるので、指導計画にも同じ年齢のなかでもグループ分けをして、計画を立てており、今日職員会議で何歳児なんだけれども、あるものはみんなでやれるけれども、あるものは誰と誰と誰はちょっと遅いようなので、そのことに関してはこのグループになるというような記録も指導計画で立てており、その確認も担任だけではなく全職員が今日の夜確認をすることになっている。

仮にそのグループに担任が付かない場合は、誰かが付くが、問題など何か報告しなければならぬときは、必ず担任に報告するようになっている。今日はごたごたして普段と違う方法になったが、クラス保育と言われているのでそれを意識してやっている。

保 クラスのなかでも早生まれの子と差があるのは分かるが、遅い子早い子のグループ分けがそんなに必要かなと思う。もちろん遅い子は遅い子でもうちょっと自分より先に準備してるなと思ったら、がんばって準備しようという思いも出てくるだろうし、そういうことでできるようになることもあるだろうし、一人で準備できたからといって遊び始めると、一人ぼっちだったりする。一人二人くらいで、もし仲良しの子がこっちにいたなら早く来て欲しいなという思いもあるし、一緒に同じ場でもうちょっといれる時間が、食べ終わったら早くあっちに行きなさいではないけど、順番でしないといけないみたいな、そうではないと思う。もう少し友達同士の関わりというか、もう少し大事に集団でいるので、できる子、できない子の区別ではなくて、もっとゆとりがあったほうが良いような気がする。先生たちからがんばれがんばれって言うことができるようになって、できる早い子のグループに入れたねって喜びではなくて、同じクラスの友達だったら同じようなグループ、仲間にいる、そういう流れほうが自然でいいと思う。

な 保育園の保育士、私たち保育者に生活させられるのではなくて、小さい子どもでも慣れてくると自分自ら生活している。我が家と同じように、どこに行くと何がある、今は駄目って言われないので何でも許される時間だと、やはり私たちは子どもたちの気持ちを受け入れながら保育しているが、何でもいいよいいよじゃなくて、やっぱり今は駄目だよ、なぜ駄目だと言っているのかということ、子どもにも分かってもらいながら、小さくても子どもはそれなりに分かる。今は駄目だよとか、そうすると分かったというふうな、そういうことを繰り返しながら保育園は長い時間なので、朝早くから夜遅くまでという、7時から8時まで子どもさんがいるので、普通は6時くらいには帰るが長い時間の中で生活させられているのではなく、小さくても生活してるんだ。満足した生活してる保育というふうなことを考えてやっており、決してせかしていないし、あっちのグループに入るためにがんばれがんばれと言っているわけでもなくて見守ってやることでその子どもは安心して、これをやったら次に何をするというような、速さは違うが次に何をするというのは分かっているので、認識をしながら、なんでも教え込むのではなくて、ときには毎日やっていることだから言わなくても子どもは分かっている。

子どもにとっては、今やろうとしてるのに言われたというような気持ちにならないような1日1日を過ごしていきたいなと考えており、ちょっとせかしているというようなことではないので、納得してもらえないかもしれないが、大人が常に出るのではなくて、まず遠くで見ているということ。慣れてくると本当に思う存分に楽しく遊んで、遅れながらも来ると、分かってたんだ、これやってから行こうと思ってたんだ

というような思いを、一人一人の子どもたちの気持ちを確認しながら保育をしているので御理解いただきたいと思う。

保 前の保育園だと夕方になるとお外で遊ぶのが結構多かったが、日中は出てるみたいだが、夕方に出てないみたいで、うちの子もだけではないと思うが、隣に公園があるので必ず公園に寄らないと帰らないということが習慣になってきて、どうして夕方遊ばせてないのかと思ってある先生に聞いたたら、徐々に出していくと5月の末頃に言われた。徐々にというのはいつ頃なのかと思い聞きたいと思う。

な 確かに回数は少ないと思う。そういうことで心配されているんだな思い、かといってまず慣れない園庭のところで一気にということになると、けがのもとになるので組ごとに時間をずらしながら、遊び方をちゃんとマスター、分かった状態でやっていかなければ駄目だなと話していたところだったので、実際おやつ後に、出て遊んだりもしている。これからは、けがのないように十分に遊ぶようにしていきたいと思う。時差出勤で職員が帰るので、夜遅くまでということではなく、ある程度職員が帰る前には、中に入る時間帯を決めて、外遊びをやらないと、けがってというのは5時30分くらいとか夕方に職員が欠けた時間帯に事故が起きるような状態にあるので、その辺も考えながら、外で十分に遊べるように考える。

保 確認したいことが2点ある。先ほどのタグ(鍵)の件だが、迎えに来たあと最後に6時位に帰ったとして、その後ちょっと忘れ物してしまったと気付いたときにタグを使って入って、忘れ物を取って出たとすると、それはどうなのか。また、新しい連絡帳を今月からいただいて書いているが、昼寝の時間なのだが、ただ「あり」「なし」の だったと思うのだが、例えばうちに帰って来て、横になっていると遊び疲れて横になって休んでいるのか、寝たりないのか、その辺ちょっと把握できないので、昼寝した時間を書いていただくこととかはできないのか。

な 時間について、システムの原本は、何時から何時までということだった。最初考えてスタートするとき、使いたいと思って作っていたが時間がかかり、変更を重ねているうちに、「あり」「なし」ということになった。やはり小さければ何時から何時まで寝ていたというのは当然必要だと思うので、3歳未満児については、そのように記入するように今日職員会議でお話する。それからお詫びだが、食事があったかなかったかの有無のことだが、本当に申し訳ないが、職員から報告を受けているが、お弁当を残して帰ったのに食べたという がついていたということで、これはどういうことなのかと職員に聞いて、担当者がほかの職員と分担して保育をしていて、記入すると

きに、許されないが、うっかり担当者から確認もしないで をつけたというようなことだった。これではいけないということで話し合いをし、再度そういうことがないように、頼んでも担任が必ず一人一人について今日のお弁当の状態がどうなのか、自分がみていなかったら、頼んだ職員にどうだったのか、確認して責任を持って仕事するようにということを話をした。再度今日も話をしたいと思う。

保 2, 3回今までであったことだが、朝、子どもを連れて行っておはようございますのあいさつと、次に迎えに園に来たときのお帰りなさいという声が少ない。朝に子どもと一緒に連れて行ってお願いすると言って連れて行く。そのときも、ほかのお母さんとしゃべったりだとか、目が届かないと言われてしまうとそれまでだが、迎えに来たときに子どもをみながらも、あのお母さん迎えに今来たなということに目を配らせていなければ、子どもにも目が行き届いていないのではないかという不安を感じた。1か月くらい前、迎えに来たとき、ちゃんとお帰りなさいと笑顔で向かえてくれる保育士さんもいたけども、お帰りなさいと言いながら、私も疲れているんだよみたいな感じの顔をされたこともあった。本当にそのとき気分が悪くて、直接言ったほうがいいのか、これを言ったことによって、お母さんからこういうふうに言われたんだよというの嫌だなと思いながら我慢してきた。あいさつが一番基本的なことだと思うので、それを子どもに教える立場の私たちがしっかりできなければ駄目だと思う。

な そういうときは玄関に職員の写真が貼ってあるので、誰々さんがこうだったと、ちょっと気分が悪かったということを書いてください。一生懸命やるのは当たり前だが、私はそういうふうにとられたのかと反省する職員たちだと思う。本当に職員は一生懸命やってくれていると思うが、厳しくお話をさせていただく。誰って名前を言わなくてもやはり一人でもそういう職員がいると言われるので、みんなで気をつけようという会議に今日はしたいと思う。

市 最初の約束でそろそろ1時間くらいになってくるわけだが、あとどなたか何かあるか。

保 3点ある。先ほども話があったが、食事の件で気になっていたのは、いただきますのあいさつがなかったというの、やはり遅い人と早い人がいるということで、園長先生の言いたいことも分かるし、でも保護者からしてみれば、子どもたちに待つということも覚えて欲しいし、待たせるほうも、待たせてるんだという気持ちを持って、なるべく待たせないように、がんばって追いつくんだという感じで、みんなで待つ初めていただきますというと気持ち良くごはんを食べられるのではないかというこ

とを感じた。食べてばらばらの別のグループを作っているのであれば、そのグループがそろっている時点で先生が前に立って、このグループがそろったのでいただきますをする。ばたばたしてても忘れてはいけない行為ではないかと思う。家にいてもいただきますと言って、ごはんを食べさせているので、保育園で習慣付けて欲しい。外で遊ぶことなのだが、先ほども出たとおり、ホールで遊ぶことは冬に入っても自然的に雪が多くなれば遊べない日、雨が降れば遊べない日とかも増えてくると思うので、天気の良いときにはもうちょっとお外で、限られても今日は砂場でもいいからとか、砂場じゃなかったら走って遊ぶグループとか分けてでもいいので遊ばせていただかないと、いっぱい体を動かしてごはんいっぱい食べてとか、いっぱい遊んで体が疲れたからお昼寝をしてということがあると思うのだが、最近うちの息子は昼寝もしない。体を使わないでお絵かきとか、折り紙とか、ブロックとかそういう遊びが大好きなので、そっちのほうに集中して体を動かすことのほうが少ないのか、園に来てても体を一生懸命動かしているという姿を見たことがないので、前のなかの保育園だと一生懸命動いて汗をかいてすっきりしていた。頭から汗をかいて真っ黒になっていた。着替えもすることもなくなった時点で、やはり体をあまり使っていないのかなと思うし、散歩もどのくらいしてるのかなと思う。

体力的に今もっとももっとつけていかなきゃいけないときなので、少し坂道を歩かせてみるとか、坂を上って、登りきったところで、すごい子どもたちも爽快に思うだろうし、そういう思いをもっともって保育園にして欲しい。親も休みのときにいろいろ子どもに接して遊ばせたりしているのだが、保育園のほうも集団でできることをさせていたきたいと思うのと、あともうひとつ、うちの子はちょっといろいろ問題があって、園長先生といろいろ話をさせていただいて、何かあったとき近くに先生がいないときには、職員室にいつでも来てね、うちの子にもちゃんと行くんだよと話していたが、その数日後、ほかの子どもたちが帰るときに見送ってあげることになって、廊下の光るところまで子どもたちが出てきたら、ある保育士さんが子どもたちにすごい怒った。こっから駄目って言っているのになんでそっちまで行かなきゃいけないのと言って、決まりはちゃんと守りなさいと言って、すごい頭ごなしに、子どもたち3人くらいに怒った。見送りに来てくれた子どもたちなのに、頭ごなしに怒って、うちの娘と一緒に迎えに行ったときも、うちの娘もびっくりして、ここまで来て怒られたら職員室に行けない。どうやって先生のところへ会いに行けばいいのか、小学生の娘がすごく疑問に思って言っていた。子どもたちもこれ以上出ていけないと思えば、職員室にも行けないだろうし、子どもたちにどういうふうに指導してるのかもちょっと知りたいなと思う。

な話を聞いていると、もしかして同じ職員かなという感じがするが、再度理想とする

保育士を目指してがんばるように話し合うので、まずじっくり観察していただいて、変わったよという、いいお話が聞けるようにみんなでがんばりたいと思う。よろしく願います。

市 あとございませんでしょうか。

保 新しい保育園になり、以前より先生方と懇談というか、相談する場が本当になくなり、私も帰りが遅くて申し訳ないが、ぎりぎりにいつも来てるので、時間に余裕のない生活だが、それでも前の先生方は自ら1日の様子を教えてくれたりとか、担任の先生からそういう日常生活のことを聞くことができていたが、今は夕方は、夕方の先生しかいないから、そういう機会もほとんどない。相談したいときに、気軽に相談できる場がぜんぜんないと思う。子どもを連れて来て、預けて、あとはさっさと帰るような形になっているので、その辺どうにかしていただければなと思う。

な 全然お話が無いということではないかと思うが、それらも保護者の方は求めているということをつかった。ノートには書いているけれども、一言今日はこうだったよと伝えようということにはなっているが、そういう状態だと困ったものである。もう少し具体的に細やかに厳しく話し合いをしなければならぬと思って聞いている。十分に話し合いたいと思う。

市 もしよろしければ予定の時間からかなり過ぎているので、そろそろ終了したいと思う。よろしければ懇談についてはこれで終了にさせていただきたいと思う。それで市からだが、次回はいつ頃にするかということで、会長さんとは相談したいと思うが、当初市のほうで考えていたのは、同じように参観日等に併せた形態のほうが保護者さんにとっては負担が少ないのではないかと考えている。

保 次回の参観日は一斉に行われぬ。

保 毎年市の担当者が変わるので保護者としても不安だ。

市 市の職員は毎年人事異動があり、そこで支障のないように事務の引継ぎということ、あるいは相談員にも残ってもらい、訪問指導ということを担当職員と一緒にやっている。その内容については、担当者のほうからは業務報告という形で毎週来ている。内容については、こういう状況だったよということについて報告を文書でもって受けて情報共有している。その辺は保護者の方にも、不安の感じないように進めていきたい

ということで、そういう取組をされていて、今回の三者懇談もその一環ということで考えているので、よろしくお願ひしたいと思う。

市 今の参観日というのは、イベント等の、こういうふうなイベントに併せて一緒に行うというイメージでお話させていただいたのだが、そういう形にするかどうかについては、会長さんと相談しながらやっていきたいと思うので、ひとつよろしくお願ひしたいと思う。

それでは第15回目の三者懇談会については、これで終了させていただく。どうも御苦勞さまでした。